

出張PR“養老が誇る食文化”



10月3日(土)・4日(日)の2日間にわたり、イオンモール大垣駐車場において、町の食文化のシンボルである肉料理をはじめ、スイーツや町特産ブランド認証品など“養老町ならでは”のグルメを提供し、その魅力を広くPRするイベント「養老食文化の祭典」が開催されました。

これまで磨き上げられてきた養老の食文化を堪能してもらうため、町内の焼肉店や精肉店を中心とした出店者により自慢の肉料理やスイーツが振る舞われ、会場は2日間とも多くの来場者で賑わいました。養老の魅力を町内外の人へ広く知ってもらい、興味を持ってもらう機会となる有意義なイベントとなりました。

地域でつなぐ伝統“栗笠の獅子舞”



10月4日(日)に福地神社(栗笠)で例大祭が行われ、岐阜県重要無形民俗文化財にも指定されている栗笠の獅子舞が栗笠獅子舞保存会により奉納されました。栗笠の獅子舞は五穀豊穡への感謝と村内の安全を祈願するために祭礼内で行われています。祭礼はかつて10月4日・5日に行われていましたが、社会の変化に合わせて近年は10月5日に近い土曜日に試楽、日曜日に本楽が行われています。祭礼では、神事や獅子舞奉納のほか、祭り踊りも奉納され、境内には大提灯、切子灯籠、紅灯籠が献灯されます。

福地神社境内に設置された舞台上で保存会による熱のこもった獅子舞が奉納され、小雨がちらつく中にもかかわらず多くの人が鑑賞に訪れました。

“人とのつながりの大切さ”と “養老の魅力”を全国へ



東京都で開催される商工会青年部全国大会(主張発表大会)に中部ブロック代表として出場する町商工会青年部の渋谷遼典さん(写真中央右)が、9月25日(金)に川地憲元町長を訪問しました。渋谷さんは、中部ブロック大会において「故郷を読み直す～青年部活動を通じて見えた養老の魅力～」と題し、青年部活動によって地域事業者とのつながりを深め、改めて感じた“人とのつながりの大切さ”や“養老の魅力”について発表し、最優秀賞を受賞しました。

渋谷さんが「全国に向けて養老の魅力をしっかり届けられるよう、精一杯発表していきます」と意気込みを話すと、川地町長は「これまでの経験を生かし、全国の舞台でも堂々と発表してきてください」と激励しました。

協定締結はゴールではなくスタートである



9月28日(月)に町と中北薬品株式会社(愛知県名古屋市)は「地域の健康づくり及び福祉の推進に向けた相互連携に関する協定」を締結しました。この協定は、相互に連携・協力し、それぞれの資源を有効に活用した協働による活動の実施により、地域の健康づくりや福祉の推進に寄与することを目的としています。

同社の赤阪正章常務取締役は「高齢化や災害への対応など、協定書に掲げた項目に対し、当社としてできることを考え、実施していきたいです。協定を結ぶことはゴールではなく、ここからがスタートです。東海4県をはじめとした地域密着の会社として、やれることはなにか考え、地域に貢献していきたいです」と話しました。